

BSOの 情報てんこもり

2022年04月21日号

制作・発行：(株)BSO 支援企画部

TEL：(06)6351-5836

～ タイムリーな情報を、いち早く皆様にお知らせします ～

◆霧研・経営革新塾の2022年度が始まりました

世紀的激動の中で新年度を迎えた各社と同じくBSOの霧研や経営革新塾も変則的な開催となった。

激動する環境の中で存在できる企業とはどのような企業か、事業とはどのような事業か、中核人財や幹部社員が果たす役割とは何か、といった例年とは大分趣きのちがった雰囲気の中で始まった。

◆2022年度霧研開催

4月は3拠点（大阪・鹿児島・高松）が1拠点に集合し合同開催の予定であったが、今回はアクリル板等を設置した会議室（高松）とリモート参加（大阪・鹿児島）の組み合わせで、コロナウイルス感染症対策をおこなった開催であった。

ある企業は、バラバラに経営されてきた事業を統合化して新時代の循環産業の事業化に挑戦するためにそれぞれの事業体から、統合化を目指して取り組む中核人財チームが参加した。ほかにも自分たちで取り組む中小企業のDX化を進めるための中核人財や新時代での協働力による事業拡大を目指す中核人財が参加した。今期は、企業力強化のそれぞれのテーマを持っての参加となり、激動時代に合った取り組みの霧研になりそうである。



《第1回霧研合同開催風景》

◆2022年度経営革新塾開催

メンバーが増え議論する視点の幅が広がった。特に、時代の変わり目に立ち、トップと二人三脚で新時代に対応する各社の企業づくりのパワーアップの場になりそうな雰囲気であった。

プラス思考でチャンスを作り、多様性社会での未知へ挑戦する議論は、車座まで続いた。

拡大する生産技術が経営戦略の大きな要素になり、流通改革はソフトからハードに拡大革新するなどの必要性が議論された。

◆管理者の仕事の連携の拙さで組織力が発揮できない企業が多くなった

現代の仕事も昔と変わらず関係者と一つになって役割が完成する。

関係者間での配慮や気付きがお互いにならないまま、現品管理や情報の機械的な受け渡しをすることにより、先入観による勘違いや情報欠落など問題が起こっている。更に悪いのは、このような問題の原因追究が徹底的に出来ておらず、再発防止が出来ずマンネリ化している企業が意外に多いことである。

8月に集中して激変対応の3泊4日の管理者連携研修を開催する予定です。ご期待ください。

◆5月度革新塾は開催日を9日に変更して桃谷順天館の岡山工場視察会を開催します。

多品種生産工場の視察と手づくり場内物流革新を参加者で討議します。当視察会に興味があり、特別参加を希望される方は、BSOにお問い合わせください。

◎テーマ：多品種生産工場の手づくり場内3次元物流革新への挑戦

◎日時：令和4年5月9日（月）14：00～18：00 ※18：00～懇親会予定 ※現地集合：13：45

◎参加費：40,000円（税別）/人 ※革新塾メンバー以外の方

《「多品種生産・無人化・場内3次元物流化の手づくり」とは》

作業者の物運搬を最小化する、ピッキング動作を最小化する、作業者の正味価値作業を最大化する、物流線を単純化する。吊りチェーンコンベアではなく、平面・垂直・空間の物無人化運搬を満たす工場内物流を最小の投資で物づくり業者の協力を得て自分たちが企画し手作りする。

詳しい記事やその他の情報は、BSOのホームページ <http://www.bso.co.jp> へ

情報てんこもりは、弊社の協働活動（受託事業・企画事業・出版事業）のタイムリーな情報をいち早く多くの方々にご提供いただく為に発信しております。（お問い合わせはshienkikaku@bso.co.jpまで）

